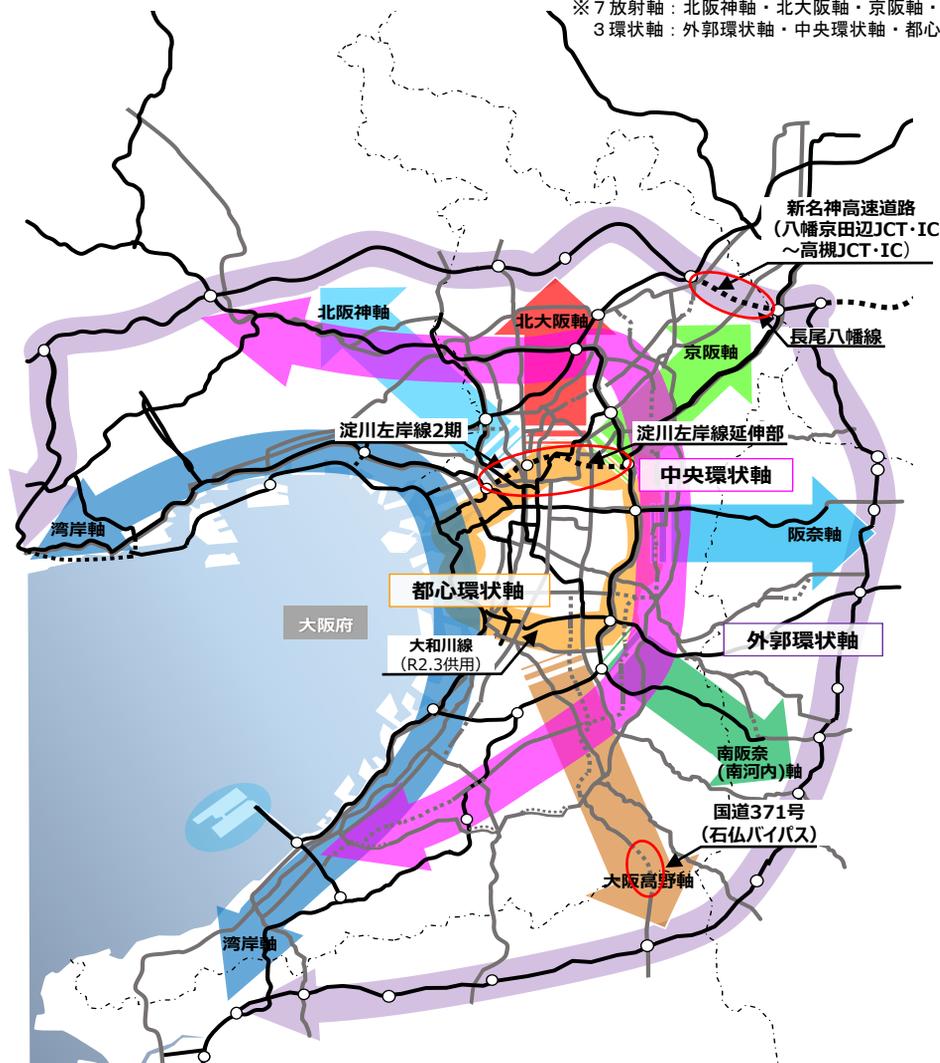


ポイント-1：大阪・関西のさらなる成長に必要なインフラの強化

◆道路ネットワークの機能強化

大阪・関西の成長に向け、国土軸やベイエリア・関空等へのアクセス道路、府県間道路など都市の骨格となる7放射軸・3環状軸※の形成をめざし、道路ネットワークの充実・強化を図ります。

※7放射軸：北阪神軸・北大阪軸・京阪軸・阪奈軸・南阪奈(南河内)軸・大阪高野軸・湾岸軸
3環状軸：外郭環状軸・中央環状軸・都心環状軸



【環状交通機能の強化】



淀川左岸線
((仮称)豊崎IC)

【府県間の連携強化】



国道 371号

【7放射軸・3環状軸の強化】



都市計画道路 大阪岸和田南海線

<令和6年度の主な事業路線(国・NEXCO・阪神高速の事業含む)>

・大阪都市再生環状道路など

- 淀川左岸線2期〔海老江JCT~((仮称)豊崎IC)
(大阪・関西万博のアクセスルートとしての活用をめざす)
- 淀川左岸線延伸部〔((仮称)豊崎IC~門真JCT)

- 新名神高速道路〔八幡京田辺JCT・IC~高槻JCT・IC〕(令和9年度 開通目標)

・府県間道路

- 国道 371号〔石仏バイパス〕(令和6年6月 供用)

・新名神アクセス道路

- 府道 長尾八幡線〔国道1号~現道拡幅区間〕(令和6年3月 暫定供用)

・7放射軸・3環状軸の強化に資する道路

- 都市計画道路 八尾富田林線(八尾市域、藤井寺市域、羽曳野市域)
- 都市計画道路 泉州山手線(貝塚市域)
- 都市計画道路 大阪河内長野線(松原市域)
- 都市計画道路 大阪岸和田南海線(和泉市域)

令和6年度
知事重点事業

◆慢性的な交通渋滞の解消

経済損失と環境負荷を発生させる慢性的な交通渋滞の緩和に向け、バイパス整備に伴う立体交差化、交差点改良など、地域の交通事情に応じた渋滞対策に取り組みます。

【道路・鉄道との立体交差化】



【道路高架】

都市計画道路 梅が丘高柳線・JR学研都市線（寝屋川市）



【鉄道高架】

府道 美原太子線・近鉄長野線（富田林市）

<令和6年度の主な事業箇所>

鉄道との立体交差

- ・都市計画道路 梅が丘高柳線・JR学研都市線（寝屋川市）
- ・府道 美原太子線・近鉄長野線（富田林市）
- ・都市計画道路 泉州山手線・水間鉄道（貝塚市） など

【交差点の機能向上】



交差点改良事例（桜塚交差点・豊中市）（右折レーンの設置）

<令和6年度の主な事業箇所>

- ・主要地方道 大阪港八尾線 久宝寺交差点（八尾市）（付加車線の設置）
- ・国道 170号 槇尾中学校南交差点（和泉市）（右折レーンの設置） など

◆利用しやすい高速道路料金体系の実現

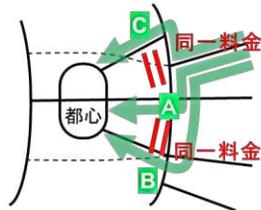
阪神高速道路大和川線の開通を踏まえ、高速道路ネットワークを有効に活用し、都心部の渋滞緩和を図るなど、利用者の視点に立った公平で分かりやすく、利用しやすい料金体系の実現に向け取り組みます。

利用しやすい料金体系の実現のイメージ

【H29年度より】

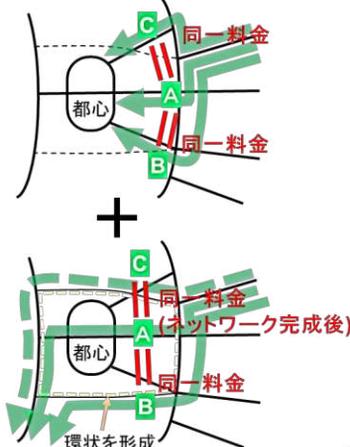
○経路によらない同一料金の“導入”
⇒都心流入の料金措置

Aルート料金 } 同一料金
Bルート料金 }
Cルート料金 }



【現在】

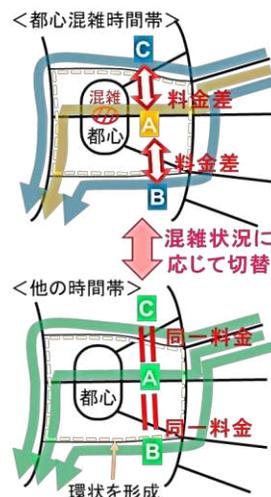
○経路によらない同一料金の“拡大”
⇒都心流入の料金措置
⇒都心通過の料金措置
令和6年度より一部導入



影響を検証した上で

【将来のイメージ】

○混雑状況に応じた
○機動的な料金の実現
【都心通過の料金措置の場合】



<令和6年度の主な取組>

令和6年6月から、対距離制を基本とした新たな上限料金の設定や料金割引の拡充・導入など、近畿圏の新たな高速道路料金が導入されました。引き続き、国や関係自治体と連携しながら、公平で利用しやすい料金体系の実現に向けて、着実な取組を推進していきます。

平成29年6月3日以前の料金体系

- ・NEXCO、阪神高速、道路公社と3つの運営主体
- ・距離料金、区間料金、均一料金と様々な料金体系
- ⇒複雑で利用しにくい

第1ステップ(平成29年6月3日以降)

【阪神高速】

- ・対距離料金の導入(激変緩和措置として上限料金を1,320円に設定 ※普通車の場合)
- ・経路によらない同一料金の導入(都心流入割引の導入)

【道路公社】

- ・路線の移管(堺泉北道路・南阪奈道路・第二阪奈道路)

第2ステップ(令和6年6月1日以降)

【阪神高速】

- ・対距離料金の推進(上限料金を1,320円から1,950円に見直し ※普通車の場合)
- ・経路によらない同一料金の拡大(都心迂回割引の導入)

<将来像>より利用しやすい料金体系の実現

- ・管理主体の統一を進め、継ぎ目のない料金体系の導入
- ・道路ネットワーク整備の進展に合わせた、渋滞を緩和し利用しやすい料金体系の導入



【料金体系】(料金水準)	
名神高速、中国道等	—
【(150+29.52L)×1.10円】	
阪神高速、第二京阪、第二阪奈	—
【(250+29.52L)×1.10円】	
箕面有料道路(大阪府道路公社)	—
【区間料金】 (点線は整備中区間)	